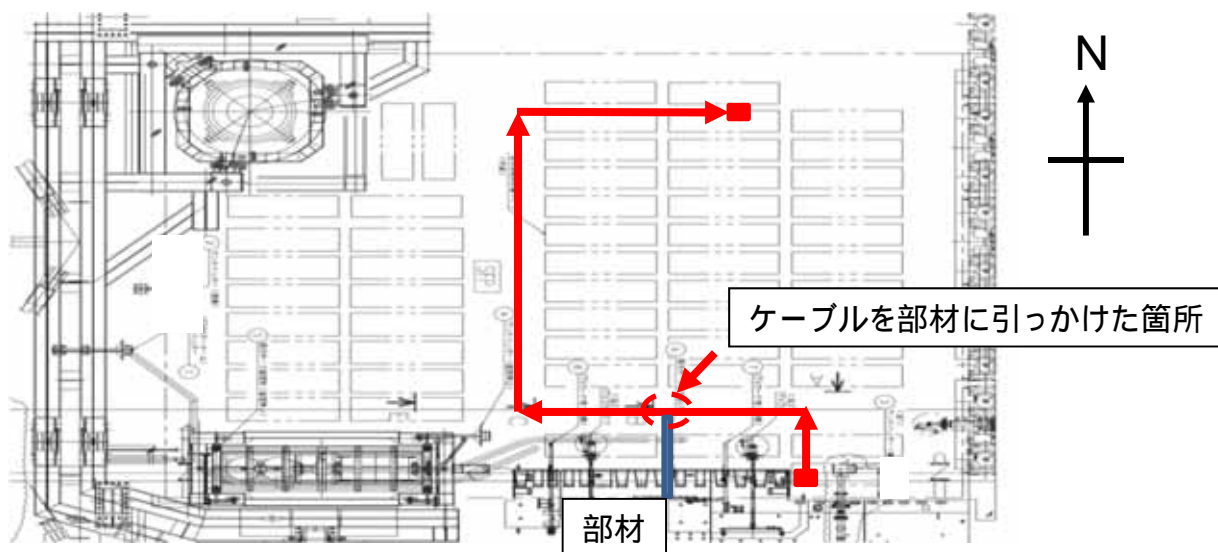


福島第一原子力発電所 3号機燃料取扱機 マストのケーブル損傷について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 9 月 3 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2020年9月2日午後3時30分頃、3号使用済燃料プールからの燃料取り出し作業において、燃料上部のガレキ撤去を行うことを目的に、燃料をプール北側へ移動していたところ、燃料取扱機（FHM）マストのケーブルがプール壁面近傍の部材に引っかかりました。
- 燃料の移動操作に支障がないことから、移動作業を継続しプール北側に移動後、マストの状況確認を行った際、同日午後6時過ぎに、マストのケーブルが損傷していることを確認しました。当該ケーブルは、燃料掴み具の開閉状態等を表示する信号に使用しているものであり、燃料の移動操作自体は可能な状態ではありますが、今後原因を調査するとともに損傷部分の復旧等、対策を講じてまいります。また、3号機オペフロダストモニタ等に有意な変動はありません。
- なお、当該マストを用いる48回目分のキャスクへの燃料装填作業は終了しており、48回目分の作業は継続いたします。

燃料移動ルート



FHMマスト ケーブルの状況

